

各 位

東京都新宿区西新宿八丁目 17 番 1 号
 株式会社 アドウェイズ
 代表取締役 岡村 陽久
 (コード番号: 2489 東証マザーズ)
 問い合わせ先:
 管理担当上席執行役員 田中 庸一
 電話番号 03 (5331) 6308

(訂正・数値データ訂正)「平成 26 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 26 年 5 月 14 日に発表いたしました「平成 26 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも訂正開示いたします。

決算短信の訂正理由につきましては、社内における精査の結果、記載ミスが見つかったためであります。なお、訂正箇所は_を付して内容を表示しております。

記

訂正箇所 ①

【サマリー情報】

1. 平成 26 年 3 月期の連結業績 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(訂正前)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年3月期	14.45	14.04	<u>4.7</u>	4.7	2.7
25年3月期	8.01	7.86	6.2	5.2	1.8

(訂正後)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年3月期	14.45	14.04	<u>6.7</u>	4.7	2.7
25年3月期	8.01	7.86	6.2	5.2	1.8

訂正箇所 ②

【5ページ】

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(2) 財政状態に関する分析

②キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

・営業活動により得られたキャッシュフローは、868,109千円の収入となりました(前期は694,147千円の収入)。主な要因は税金等調整前当期純利益1,057,719千円による資金の増加、売上債権の増減額1,191,364千円による資金の減少であります。

(訂正後)

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

・営業活動により得られたキャッシュフローは、868,109千円の収入となりました（前期は694,147千円の収入）。主な要因は税金等調整前当期純利益1,057,719千円による資金の増加、売上債権の増減額1,349,271千円による資金の減少であります。

訂正箇所 ③

【19 ページ】

4. 連結財務諸表

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)		(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	
営業活動におけるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益	589,128		1,057,719	
減価償却費	90,574		102,262	
のれん償却額	18,751		22,299	
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44,528		43,985	
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△4,486		—	
株式報酬費用	8,888		39,497	
受取利息及び受取配当金	△5,407		△16,878	
支払利息	—		83	
固定資産売却損益 (△は益)	76		—	
減損損失	28,593		—	
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△175,179		△197,675	
出資金評価損	28,576		—	
関係会社株式売却損益 (△は益)	△35,540		631	
持分変動損益 (△は益)	—		△17,441	
持分法による投資損益 (△は益)	—		6,910	
為替差損益 (△は益)	51,380		△78,953	
補助金収入	△15,155		△31,470	
開業費償却額	10,261		—	
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,090,222		△1,191,364	
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,365,610		1,194,370	
未払消費税等の増減額 (△は減少)	13,807		15,880	
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	72,476		101,427	
その他	△26,209		32,672	
小計	970,453		1,083,960	

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)		(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	
営業活動におけるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益	589,128		1,057,719	
減価償却費	90,574		102,262	
のれん償却額	18,751		22,299	
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44,528		43,985	
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△4,486		—	
株式報酬費用	8,888		39,497	
受取利息及び受取配当金	△5,407		△16,878	
支払利息	—		83	
固定資産売却損益 (△は益)	76		—	

減損損失	28,593	—
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△175,179	△197,675
出資金評価損	28,576	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△35,540	631
持分変動損益 (△は益)	—	△17,441
持分法による投資損益 (△は益)	—	6,910
為替差損益 (△は益)	51,380	78,953
補助金収入	△15,155	△31,470
開業費償却額	10,261	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,090,222	△1,349,271
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,365,610	1,194,370
未払消費税等の増減額 (△は減少)	13,807	15,880
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	72,476	101,427
その他	△26,209	32,672
小計	970,453	1,083,960

訂正箇所 ④

【26 ページ】

4. 連結財務諸表

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(連結包括利益計算書関係)

(訂正前)

※1 その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)		(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	
その他有価証券評価差額金：				
当期発生額	236,660千円		15,003千円	
組替調整額	△136,434		△121,573	
税効果調整前	100,225		△106,570	
税効果額	△34,879		△37,981	
その他有価証券評価差額金	65,346		△68,588	
為替換算調整勘定：				
当期発生額	120,094		275,944	
為替換算調整勘定	120,094		275,944	
その他の包括利益合計	185,440		204,768	

(訂正後)

※1 その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)		(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	
その他有価証券評価差額金：				
当期発生額	236,660千円		15,003千円	
組替調整額	△136,434		△121,573	
税効果調整前	100,225		△106,570	
税効果額	△34,879		△37,981	
その他有価証券評価差額金	65,346		△68,588	
為替換算調整勘定：				
当期発生額	120,094		275,944	
為替換算調整勘定	120,094		275,944	
その他の包括利益合計	185,440		207,355	

訂正箇所 ⑤

【27 ページ】

4. 連結財務諸表

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(連結株主資本等変動計算書関係)

(訂正前)

当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首 株式数 (株)	当連結会計年度増加 株式数 (株)	当連結会計年度減少 株式数 (株)	当連結会計年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式 (注) 1、2	79,970	40,642,530	—	40,722,500
合計	79,970	40,642,530	—	40,722,500
自己株式				
普通株式 (注) 1、3、4	8,018	4,000,982	4,009,000	—
合計	8,018	4,000,982	4,009,000	—

- (注) 1. 当社は、平成25年7月31日開催の取締役会決議により、平成25年10月1日付で、普通株式1株につき普通株式500株の割合で株式分割を行っております。
2. 普通株式の発行済株式総数の増加40,642,530株は、株式分割による増加39,905,030株及び新株予約権の権利行使による増加737,500株であります。
3. 普通株式の自己株式の株式数の増加4,000,982株は、株式分割による増加であります。
4. 普通株式の自己株式の株式数の減少4,009,000株は、行使価額修正条項付き第9回新株予約権 (第三者割当て) の権利行使により自己株式の処分を行ったことによる減少3,854,000株及び第3回新株予約権の権利行使により自己株式の処分を行った減少155,000株であります。第9回新株予約権は、平成25年10月1日開催の取締役会決議により発行したものであり、当連結会計年度において、すべての権利行使及び払込が完了し、当社が保有するすべての自己株式を処分いたしました。

(訂正後)

当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首 株式数 (株)	当連結会計年度増加 株式数 (株)	当連結会計年度減少 株式数 (株)	当連結会計年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式 (注) 1、2	79,970	40,642,530	—	40,722,500
合計	79,970	40,642,530	—	40,722,500
自己株式				
普通株式 (注) 1、3、4	8,018	3,846,292	3,854,310	—
合計	8,018	3,846,292	3,854,310	—

- (注) 1. 当社は、平成25年7月31日開催の取締役会決議により、平成25年10月1日付で、普通株式1株につき普通株式500株の割合で株式分割を行っております。
2. 普通株式の発行済株式総数の増加40,642,530株は、株式分割による増加40,468,900株及び新株予約権の権利行使による増加173,630株であります。
3. 普通株式の自己株式の株式数の増加3,846,292株は、株式分割による増加であります。
4. 普通株式の自己株式の株式数の減少3,854,310株は、行使価額修正条項付き第9回新株予約権 (第三者割当て) の権利行使により自己株式の処分を行ったことによる減少3,854,000株及び第3回新株予約権の権利行使により自己株式の処分を行った減少310株であります。第9回新株予約権は、平成25年10月1日開催の取締役会決議により発行したものであり、当連結会計年度において、すべての権利行使及び払込が完了し、当社が保有するすべての自己株式を処分いたしました。

訂正箇所 ⑥

【37 ページ】

4. 連結財務諸表

(セグメント情報等)

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差異及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（訂正前）

セグメント資産

（単位：千円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,677,714	<u>7,180,424</u>
「その他」の区分の資産	250,472	208,945
全社資産（注）	4,096,501	10,355,247
連結財務諸表の資産	9,024,689	17,748,617

（注）全社資産は、各報告セグメントに帰属しない資産であり、主に親会社での余資運用資金（現金及び預金）及び長期投資資金（投資有価証券）等であります。

（訂正後）

セグメント資産

（単位：千円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,677,714	<u>7,184,424</u>
「その他」の区分の資産	250,472	208,945
全社資産（注）	4,096,501	10,355,247
連結財務諸表の資産	9,024,689	17,748,617

（注）全社資産は、各報告セグメントに帰属しない資産であり、主に親会社での余資運用資金（現金及び預金）及び長期投資資金（投資有価証券）等であります。

以 上